

【 診療科:血液内科】  
 【 レジメン登録番号:IG-67 】

〈 weekly ベルケイド療法(皮下注射) 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)								
			1	...	8	...	15	...	22	...	35
ボルテゾミブ	1.3mg/m <sup>2</sup>	sc	○		○		○		○		○
デカドロン	16.5mg/day (div.) 20~40mg/day (p.o.)※1	div.(p.o.)	○		○		○		○		○

【1コース期間: 35日】 【総コース数: 9 コース】

【適応癌種:再発・難治性の多発性骨髄腫】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準
薬剤投与基準量	グレード3以上の非血液毒性(末梢性ニューロパシー、神経障害性疼痛を除く)、またはグレード4の血液毒性発現時	休薬	休薬前の投与量で、 1.3mg/m <sup>2</sup> →1.0mg/m <sup>2</sup> 1.0mg/m <sup>2</sup> →0.7mg/m <sup>2</sup> 0.7mg/m <sup>2</sup> →投与中止に変更して再開
薬剤投与基準量	神経障害性疼痛(痛み+)のグレード1or痛み(-)のグレード2)	1.3mg/m <sup>2</sup> →1.0mg/m <sup>2</sup> 1.0mg/m <sup>2</sup> →0.7mg/m <sup>2</sup>	
薬剤投与基準量	神経障害性疼痛(痛み+)のグレード2or3)	休薬	回復時、0.7mg/m <sup>2</sup> へ減量し 週1回投与で再開
薬剤投与基準量	神経障害性の グレード4の副作用	中止	

項目	減量・休薬基準	減量内容	再開基準
好中球数	<1,000		
血小板数	70,000未満		
総ビリルビン	1.5倍以上		
AST・ALT	2.5倍以上		

投与プロトコール

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ボルテゾミブ 1.3mg/m <sup>2</sup>	sc
	生理食塩水 0.8mL/V※2	
Rp.2	デキサート 16.5mg	div.(30分で)
	生理食塩水 50mL	
(Rp.2)※1	デカドロン錠(0.5mg)	p.o
	40~80錠 分2 朝夕	

【参考文献:】

【備考: 初期治療を1~2コース施行後で、本法に移行する場合もある。】

【変法情報: ※1 デカドロン錠を経口投与で行うこともある。その際、高齢者や合併症により20mg(40錠)/dayに減量する。】

【変法情報: ※2 皮下投与では、ボルテゾミブ1Vを生食0.8mLで溶解して調製する。】

【変法情報: ※ デキサート注は、デキサメタゾンリン酸エステルとして20mg。】